



ゆずりはの森から

第162号
2016年10月11日発行



NPO法人
ゆずりは学園

小学生

中学生

高校生

大学生

社会人

天竜川 川下りキャンプ

今年の自然体験は、天竜川下りをすることにしました。

無事、キャンプ場に到着です。テントを張る作業に取り掛かります。下は平らな場所を選び、インストラクターの指示に従って、色鮮やかなテントが川の横に張られていきます。午後は自分のフオーク、スプーン作りです。細木を自分の好きな長さに切り、木の皮をむき、穴をドリルで開け、スプーンを挿して完成です。器用な生徒は、そこにさらに細工を施します。バーナーで焼きを作る生徒もいます。そうしているうちに、雨が降り出しました。雷も鳴り出しました。カープのテントの中の作業です。雨が降に溜まりだします。バケツをひっくり返すくらい雨になりました。水もあつという間に溜まります。手で水を捨てて作業も入り、食事作りと「自然キャンプ」は面



9/29 (木)

5月のカヤック学習を生かして14キロの川下りに挑む

白い体験になりました。夜は電気もないので、早く暗くなります。テントの中で、グループで話したり、大きなカープのテントの中では、ランプゲームをしたり、もちろん消灯の時間の後も、慣れない、または眠れない生徒たちが夜通し話しています。テントの中は、コオロギやアリや虫たちも参加してきます。入口を開けておいたテントの中は大変です。

朝の食事が済むと、いよいよ川下りです。ウエットスーツを着て、ブーツを履き、こぎ方、落ちないための足の位置などを教えていただき、4人乗り、6人乗りなどのボートに分かれ出発です。ボートは次々と私たちの目の前から消えていきます。

昼近く、川下りから帰ってきた生徒たち。口々に「楽しかった」「面白かった」中には「怖かった」という生徒。約14キロ近くの天竜川川下り、雨と雷と雄大な自然の中の体験でした。

「二人ひとりの子ども・生徒の声を聴いて」の講演で

人それぞれが持つ個性を大切にしたいと講演会の機会をいたたくと話しています。なかなか講演後のアンケートをいたたいたことは少ないですが、今回は貴重な参加者の「声」も聴くことができました。アンケートの中でも「不登校の子もたちの学校に行けない理由が深いことが分かった」「子どもの個性を大切に受け

とめること、居場所を確保することの大切さを学んだ」「人間、いろいろな感性を持ち、みんな同じ規定では測れないと感じた」「感覚過敏の子、集団生活の苦手な子、対人関係の苦手な子など、その子に合わせた対応を考えていくことと、思った」「さまざまな過敏反応があり、大人が親が、教師がその子の苦しみを理解できます、ますます苦しめてしまっている」とあるということがわかりました。な

ど、実に多くの意見をいただきました。保護者、学校関係、行政とさまざまな立場での感じ方も大きな学びでした。



9/27 (火)

新城設楽地区「人権指導者研修会」講演

東日本大震災 NPO法人 ゆずりは学園 6年目に入る震災支援

2014 [4年目]

- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●道の駅：田原めつくんはうす・ゆずりは学園で
キャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、
その他の野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9~12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園
- 11/21 ●キャベツ100個 福島仮設住宅
- 12/4 ●みかん段ボール(各)10箱 福島仮設住宅、福島さくらみなみ保育園

2015 [5年目]

- 1/6 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 2/24 ●ふわふわソックス 福島仮設住宅
- 3/15 ●キャベツ530ケース、ブロッコリー60ケース、お米650kg、その他野菜・果物90ケース
福島県福島市 蓬萊仮設住宅 他仮設住宅(約1,100世帯) 他
- 6/13 ●梅2箱 福島仮設住宅
- 8/20 ●そうめん段ボール6箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 11/20 ●米・かぼちゃ 福島仮設住宅
- 11/28 ●レタス・米 福島仮設住宅
- 12/1 ●みかん 福島仮設住宅 保育園

2016 [活動報告]

- 3/12・13 ●道の駅：田原めつくんはうすで米・野菜・果物
被災地各仮設住宅へ
- 4/22 ●甘夏 福島仮設住宅
- 6/4 ●玉ねぎ 福島仮設住宅
- 8/19 ●そうめん(長仙寺、医王寺より) 福島仮設住宅

募集

- 賛助会員/年会費2,000円
- 正会員/年会費5,000円
- 寄付/自由

- 三菱東京UFJ銀行 (普) 田原支店
- 銀行 振込み
- 座名義/ゆずりは学園
理事 沓名智彦
- 座番号/3627714
- 座名義/特定非営利活動法人
ゆずりは学園
- 座番号/00870-6-136039
- 郵便局 振込み

お便りを郵送します。お名前・ご住所をご連絡下さい。

NPO法人
ゆずりは学園
会員希望者

自閉症・アスペルガー等の「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会 (175回)
○日時/10月14日(金) PM1:30~3:30
○場所/ゆずりは学園
(毎月第2金曜日 11/11・12/9・1/13)

ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

多数の参加 海岸きれいに
瀬美半島の里海を美しくする会が清掃活動
東日新聞10月4日付

瀬美半島の海岸をきれいに
3カ所で1100人が清掃活動
東愛知新聞10月2日付



10/1 (土) 2 (日) きれいな里海を未来に残したい
参加者：約1,900人 ゴミ：約8,330キロ



800名。一日間で合計約1900人の人々が海岸清掃に参加してくださいます。拾われた「ミ、流木、一般ごみ総重量3030キロにもなりました。きれいな里海を未来に残そうと始めたこの活動は、いつしかこんなに大きなものになりました。

ゆずりは学園の生徒、保護者、そして全国ボランティアの若者たちが、今回も大阪、神戸などから集まって、「ミ」の分別などをしてくれました。今週は雨が多く、参加者の駐車場準備の草刈りがなかなか出来ず、実にあわただしい看板立てでしたが、当日は台風などの心配もなく、実施できたこと何よりでした。多くの方々の協力に感謝いたします。